



平成 20 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社
代 表 者 名 取締役社長 井手 明彦
(コード番号 5711 東・大証第 1 部)
問 合 せ 先 広報・IR室副室長 鈴木 徹
(TEL 03-5252-5206)

多結晶シリコン増産起業について

当社は、四日市工場（三重県四日市市）に 335 億円を投じ、予てより検討して参りました多結晶シリコンの 1000 トン／年の生産能力増強を図る増産起業の計画を確定し、実施することと致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 当社多結晶シリコン事業の概要

当社電子材料事業部門は、シリコン関連製品市場を重要な事業領域に掲げ、多結晶シリコン、シリコン関連製品並びに柱状晶シリコンを「垂直価値連鎖を発揮できるシリコン関連事業」における戦略製品と位置付け、事業の核としています。

当社グループの多結晶シリコン事業は、四日市工場と米国・アラバマ州の米国三菱ポリシリコン社の 2 工場体制にて生産しており、いずれの工場もイレブンナイン (99.99999999%) という非常に高純度の多結晶シリコンを製造しています。

平成 19 年 4 月には、当社が直接多結晶シリコン事業を運営することにより、意思決定の迅速化や技術開発力の一層の強化を図り、同事業の更なる成長・発展を遂げるべく、当時連結子会社であった三菱マテリアルポリシリコン㈱を吸収合併し、現四日市工場を発足させております。

また、半導体向けや太陽電池向けの急速な需要伸長に応えるべく、四日市工場、米国三菱ポリシリコン社の 2 工場とも、現有ラインでの生産性向上による生産能力増強に努めてまいりました。

2. 今次増産起業の概要と今後の予定

多結晶シリコンの需要は、中長期的には、高度情報化社会の深耕や、発展途上国等における半導体市場の拡大、環境保全への意識の高まりから、クリーンエネルギーである太陽電池向けに一層需要が拡大することが予想されます。この中長期トレンドを視野におきながら、生産能力を増強するため、予てより検討してきた増産起業を実施することとしたものであります。

本起業では、現在の四日市工場の近隣に約 90,000 m²の建設用地を購入し、今般確定した

第一段階の起業として、1,000 トン／年の生産能力増となる設備増強工事を行います。なお、竣工は 2010 年 1 月を予定しております。

将来的には、同敷地内でさらに 3,000～4,000 トン／年の増産計画も検討しており、本起業投資金額約 335 億円には将来の増産に備えたインフラ整備等の先行投資（土地購入代も含め約 100 億円）を含んでおります。

三菱マテリアルグループの多結晶シリコン年間生産量

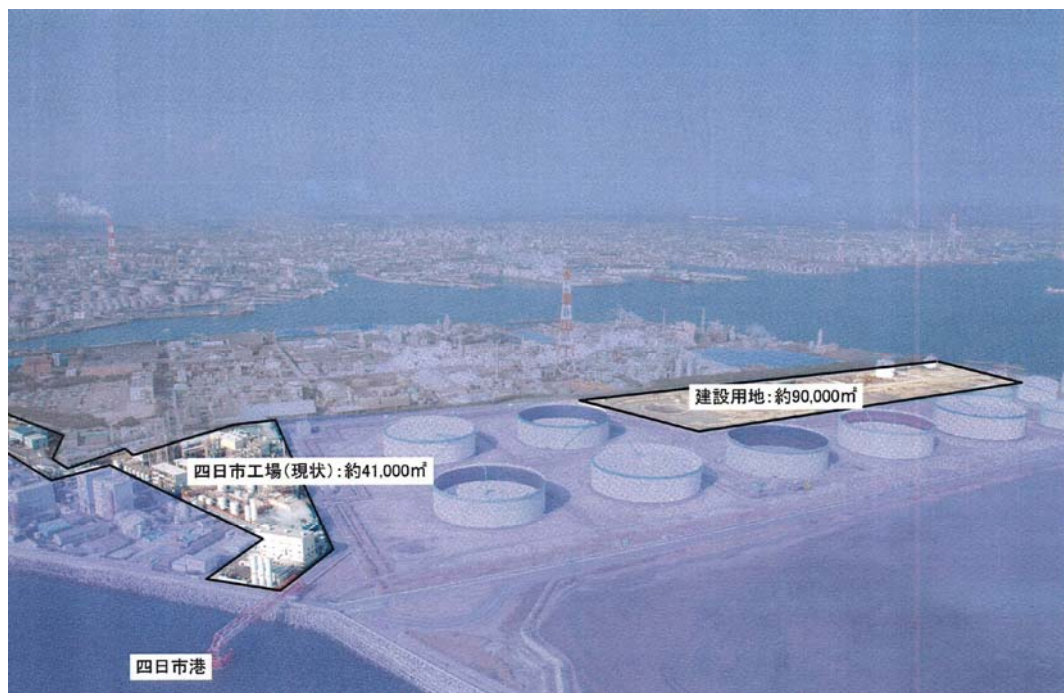
	＜現状＞	＜今次増強＞	＜増強後＞
四日市工場	1,800 トン	+1,000 トン	2,800 トン
MIPSA（※）	1,500 トン		
合計	3,300 トン		4,300 トン

※ MIPSA：米国三菱ポリシリコン社 当社 100%出資の米国子会社

以 上

<参考資料> 四日市工場概要

- 所在地 : 三重県四日市市三田町 5
- 工場長 : 武下 臣
- 従業員数 : 158 名（2008 年 3 月 1 日現在、パート、派遣社員を除く）
- 生産品目 : 高純度多結晶シリコン、シランガス



四日市工場全景写真